

■一般目標（GIO）

本講義では、心理学の様々な領域について概観し、人の心の基本的な仕組み及び働きに対する理解を深めていく。また、臨床場面で活用される理論や技法などを学び、患者に対する理解と医療人としての自己理解を深めていくことを目的とする。

■到達目標（SBOs）

- ・本講義を受講することで、人の心の基本的な仕組み及び働きについて理解する。
- ・心理学で得られた知見に基づいて、日常生活で観察される人の心や行動について考察することができる。
- ・上記を活用し患者に対する理解および自己理解を深める。

■教科書：指定しない

■参考書：藤田主一 他編著 『新 医療と看護のための心理学』 福村出版

■授業時間：月曜日 1) 9:00～9:50 2) 10:00～10:50
3) 11:00～11:50

■オフィスアワー：月曜日 15:00～16:00（連絡先は授業内で提示する）

■授業の方法：スライドを用いて講義を行う。また、授業内容に対する理解を深めるために、ディスカッションや心理テストを行う。

■準備学習・講義ごとに確認シートの配布を行う。次回授業までに、穴埋準備学習時間：めをするとともに、講義内容を復習しておくこと。

■成績評価方法：定期試験(100%)により評価する。

■注意事項：特になし。

■実務経験：鎌田哲司：公認心理師の資格を持つ。病院併設のデイケアでの心理的支援の経験を有する。臨床現場での実践経験から、心理学の基礎的な知識がどのように活用されるか、臨床現場で有用となる事項（心理的支援、多職種連携など）について紹介していく。

■予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 10月6日 1) 鎌田 哲司	I. Introduction 1)心理学の誕生 2)心理学とは	・患者の理解に求められる心理学とはどういったものか、特に目的、対象、研究方法、研究領域について理解する。
第2回 10月6日 2) 鎌田 哲司	I. Introduction 1)医療場面と心理学の役割	・歯科医療において心理学が果たす役割を理解する。

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 目 的・到 達 目 標
第3回 10月6日 3) 鎌田 哲司	I. Introduction 2) 歯科医療と心理学	患者理解に必要な観点やかかわり方について学ぶ。
第4回 10月20日 1) 鎌田 哲司	II. 発達 1) 知的発達①	- 患者の考え方を理解する上で有用であるピアジェ理論を学ぶ。 - ピアジェの発達段階それぞれの知的特徴を理解する。
第5回 10月20日 2) 鎌田 哲司	II. 発達 2) 知的発達②	成人期、および老年期の知的特徴を理解する。
第6回 10月20日 3) 鎌田 哲司	II. 発達 3) 心理社会的発達 4) 臨床場面での活用	- 患者理解の基礎となる生涯発達の視点について理解する。 - エリクソンの心理・社会的発達段階に基づいて、各段階における発達課題を理解する。 - 発達に関する知識が臨床場面でのどのように活用されるのか学ぶ。
第7回 10月27日 1) 鎌田 哲司	III. 学習 1) 非連合学習 2) 連合学習①	- 学習の定義を理解する。 - 実体験によって形成される過程であるレスポナント条件づけとオペラント条件づけによる学習について理解する。
第8回 10月27日 2) 鎌田 哲司	III. 学習 2) 連合理論② 3) 観察学習と般化模倣 4) ルール支配行動	- 他者の行動を観察することで変化する過程である学習について理解する。 - 言語的な教示により変化する過程である学習について理解する。
第9回 10月27日 3) 鎌田 哲司	III. 学習 5) 日常生活・臨床場面での活用	学習が日常生活や臨床場面において、どのように活用されているのかを学ぶ。
第10回 11月10日 1) 鎌田 哲司	IV. 知能 1) 知能の定義 2) 知能の諸理論	- 知能とは何で、知能はどのように測定されるのか理解する。 - 知能はどのような構造をしているかを理解し知的個性の質的な差について考えていく。

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 目 的・到 達 目 標
第 11 回 11 月 10 日 2) 鎌田 哲司	IV. 知能 3) 知能の測定方法	知能検査（主に、ビネー式知能検査とウェクスラー式知能検査）について学ぶ。
第 12 回 11 月 10 日 3) 鎌田 哲司	IV. 知能 4) 臨床場面での活用	知能に関する理論や知能検査について、臨床場面ではどのように活用されているのかを学ぶ。
第 13 回 11 月 17 日 1) 鎌田 哲司	V. パーソナリティ 1) 性格の捉え方 2) 類型論	- パーソナリティを理解する視点について理解する。 - 性格の類型理論の立場を理解する。 - キャテルの特性論，5 因子論，ミシエルの状況論について学ぶとともに，類型論的人間理解の問題点を理解する。
第 14 回 11 月 17 日 2) 鎌田 哲司	V. パーソナリティ 3) 特性論 4) 状況論 6) 個人差	- 性格の特性論的アプローチについて理解する。 - 物語（ナラティブ）として理解していく視点の理論的根拠の一つである状況論について理解する。 - IVとVを振り返り，個人差に対する理解の重要性を理解する。
第 15 回 12 月 1 日 1) 鎌田 哲司	VI. 欲求と適応 1) 欲求の種類 2) 欲求体系 3) フラストレーション（欲求不満）	- 一次的欲求と二次的欲求について学ぶ。 - 欲求階層理論について学ぶ。 - 患者は疾病に伴いさまざまなフラストレーションを体験する。欲求不満事態とそれに対する反応について理解する。
第 16 回 12 月 1 日 2) 鎌田 哲司	VI. 欲求と適応 4) 葛藤事態 5) 防衛機制	- 葛藤事態の基礎理論について理解する。 - 心理的緊張状態と適応における防衛機制について学び，その種類について理解する。
第 17 回 12 月 8 日 1) 鎌田 哲司	VII. 動機づけ 1) 動機づけ（モチベーション）	動機づけの要素，行動の原動力維持要因となる動機づけのプロセスについて学び，動機づけについて理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第18回 12月8日 2) 鎌田 哲司	VII. 動機づけ 2)動機づけ理論の発展	社会的動機づけがどのようなものであるか，達成動機づけと内発的動機づけの観点から学ぶ。
第19回 12月15日 1) 鎌田 哲司	VIII. 感情と情動 1)感情・情動・気分 2)情動生起	- 感情，情動，気分という専門用語が心理学においてどのように使い分けられているか学ぶ。 - 情動生起の理論について，その考え方を現実場面に則して理解する。
第20回 12月15日 2) 鎌田 哲司	VIII. 感情と情動 3)基本的表情 4)情動調節	- 基本表情とその普遍性について学ぶ。 - 対人コミュニケーションを良好に保つ機能を持つ情動調節について理解する。
第21回 12月22日 1) 鎌田 哲司	IX. 健康 1)ストレスと健康	- ストレスとストレス反応について理解する。 - ストレスの医学的・心理学的モデルについて理解する。
第22回 12月22日 2) 鎌田 哲司	IX. 健康 3)パーソナリティと健康 4)ストレスコーピング	- 疾病と健康阻害要因となりうるパーソナリティとの関連について学ぶ。 - ストレスコーピングについて理解し，適当に用いることができるようにする。
第23回 1月19日 1) 鎌田 哲司	X. 人間関係の心理 1)対人認知	- 患者との良好な人間関係を形成していくために求められる社会心理学的視点について理解する。 - 他者に対する好き嫌い(対人好悪)はどのように形成されるのか，その規定因を学ぶ。
第24回 1月19日 2) 鎌田 哲司	X. 人間関係の心理 2)社会的態度	社会的態度の形成と変容に関わる諸要因について，理論と実験例とを対比しながら関連付けて理解する。
第25回 1月19日 3) 鎌田 哲司	X. 人間関係の心理 1)友人との人間関係 2)人間関係のルールとスキル	- 友人関係を取り上げ，その意味について考える。 - 人間関係のルールとスキルについて理解を深める。

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 目 的・到 達 目 標
第 2 6 回 1 月 26 日 1) 鎌田 哲司	XI. 医療に役立つ心理療法 1) クライエント中心療法	・ クライエント中心療法を参考に、患者に対する理解やかかわり方の基本について学ぶ。
第 2 7 回 1 月 26 日 2) 鎌田 哲司	XI. 医療に役立つ心理療法 2) 精神分析療法	・ 精神分析療法を参考に、患者との関係の中で何が起きるのか理解する。
第 2 8 回 1 月 26 日 3) 鎌田 哲司	XI. 医療に役立つ心理療 3) 認知行動療法	・ 認知行動療法を参考に、患者の特徴把握、支援の仕方について理解する。